

10月3週目掲示板の言葉です。

イスラエルとパレスチナが戦争を開始してから1年が経過しました。

今回の言葉は、この絵本作成の過程で、たにかわさんが言っていた言葉、又絵本が出来上がった時に、たにかわさんが出版社に送ったメッセージだそうです。

絵本の後半には味方と敵の、顔・あさ・赤ちゃんという事が、同じイラストで表現されています。

本当は皆、命は尊く、敵も味方もないのかもしれませんが。

平和の中にあって戦争の種を撒く可能性。(相手を傷つけてでも、満たそうとする自分の欲望が、格差・差別・誹謗中傷などをつくることかもしれません。)

そして実際の戦争を起こす、又巻き込まれたりする可能性。

それを人間は、持ち合わせていると自覚することが大事なようです。

その前提に立ち、お互いに努力して、尊い命を奪う戦争にならないようにすることが大切だと感じました。

言葉のチョイスと解説 「なまくら坊主」

朗読 「秋桜」